

## 1 概要

「キュレーション公募展 2023」では、キュレーターによる企画案を募集します。

全国でいろいろな展覧会が行われ、記憶の中に留まるものや忘れ去られていくもの、多くの展覧会が消費されていきます。ますます展覧会展開のスピードは速くなり、観客が置き去りにされ前のめりになっているかのようにさえ思われます。

そして今、時代の大きな転換期（コロナ禍・ウクライナ侵攻）を迎えている時、根本から展覧会のあり方を再考する場面に立たされています。キュレーションの可能性の再考はもちろんのこと、社会との関わり方や展覧会へ至るまでの過程を重視するキュレーションも多く展開されようとしています。

昨年、コロナ禍で1年間延期となった第1回「キュレーション公募展 2020」を実施致しました。選定されたキュレーター松江李穂氏の「A STEP AWAY FROM THEM 一步離れて」です。人や物との距離を置くことが声高に叫ばれた時期だからこそ、一步離れた＝少し距離をおいた、いつもとは違った視点を取り入れることの大切さを強く意識したキュレーションでした。数多くの展覧会と向き合うことを重ねてきた若きキュレーターが、4名のアーティストとの2年間に及ぶコミュニケーションの継続を図り、互いの理解を深め、共同作業を通して作り上げた展覧会でした。ギャラリー無量（地方・富山）で展示する事の意味を問い続けたアーティスト達の参加が、キュレーションのレベルを上げていたことに結びついたのも印象的です。松江李穂氏の取り組みは、「記録集」として集約される予定です。

キュレーションの新しい方向が、今、美術界で問われています。しかし、キュレーターには、自分のキュレーションを実験してみる機会が多いとは言えません。キュレーターが、実際の展覧会の企画から実施までを遂行することで、貴重な体験や新たな可能性を見出すことを願い、本企画を計画しました。古民家を改修したギャラリー無量で、「キュレーションによって展覧会はこうも変わるのだ」と、キュレーターの意欲的・実験的な企画を募集します。

## 2 企画展概要

- ・会期：(予定)2023年10月7日(土)～11月27日(月)の土・日・月
- ・会場：ギャラリー無量

## 3 審査員・アドバイザー

- ・尺戸智佳子/黒部市美術館学芸員
- ・長谷川新/インディペンデントキュレーター
- ・松江李穂/キュレーション公募展 2020 選定キュレーター
- ・鷺田めるる/十和田市現代美術館館長

## 4 募集人数及び企画内容

- (1) 1人(1組)

- (2) キュレーターによるギャラリー無量を活用した意欲的な展覧会企画
- ・ 出展作品のジャンル・形式は自由
  - ・ 企画内容
    - ・ 新鮮さやインパクトがある  
見たこともないイメージ、体験したことの無い感覚刺激等のインパクト
    - ・ メッセージや主張がある  
主張、メッセージ、思想が確立している 時代のコンパスになり得ている
    - ・ キュレーションの新しさがある  
参加者の想像力を高める工夫がなされている

## 5 応募資格

- ・ 国籍、年齢、性別、資格の有無(学芸員等)、経験の有無、個人、団体は問わない  
※事業に関する会議や打合せはすべて日本語で行います
- ・ 入選した場合、展覧会の準備開催および撤去に至るまで責任をもって遂行できること
- ・ ギャラリー無量との連絡が円滑にとれること

## 6 事業費

- (1) 展覧会にかかる経費 35万円(諸税を含む)
- 作品調査・打合せ・展示設営等にかかる交通費・滞在費、資料作成費、出展者謝金、出展作品輸送料、借用料および保険料、印刷物(チラシ・ポスター・図録)デザイン料及び印刷費、図録寄稿 文執筆謝金、関連イベント謝金・交通費、記録写真撮影料、会場設営費、展示消耗品費、賃借料など
- ※すべての経費の執行についてはギャラリー無量で行います
- ※執行区分がギャラリー無量の場合は、キュレーターが予算化する必要はありません
- (2) キュレーター準備費(展覧会実現のために自由に使える費用)として基本経費の未執行分をギャラリー無量から支給します(用途不問)

## 7 支援内容

- (1) 展覧会会場としてギャラリー無量の建物、敷地提供  
(搬入出期間を含む/その他の会場使用に関しては入選後調整のうえ決定)
- (2) 審査員(アドバイザー)によるアドバイス
- (3) ギャラリー無量による展覧会実現までのサポート(展示作業サポート)
- (4) 広報及および宣伝協力(ギャラリー無量 HP への情報掲載、印刷物送料等)
- (5) 監視スタッフの手配および費用負担

## 8 印刷物の仕様

本事業に関する印刷物の仕様については原則以下のとおりとします  
ただし、事務局と相談の上、予算の範囲内において内容は変更可能とします

印刷物	仕様等
展覧会チラシ (1,500部)	サイズ：A4 用紙：厚紙（上質紙） 90kg カラー：白黒 特殊加工不可 オフセット印刷
展覧会ポスター (30部)	サイズ：B2 用紙：厚紙（上質紙） 110kg カラー：白黒 特殊加工不可 オフセット印刷
展覧会図録 (100部)	サイズ：B5 製本：中綴じ ページ数：16頁（表紙含む）程度 用紙：厚紙（上質紙） 110kg カラー：カラー 特殊加工不可 オフセット印刷

## 9 応募方法

(1)～(3)の書類を下記送付先まで提出してください

- (1) 応募用紙（指定様式1）
- (2) 企画書（応募用紙とは区別し、下記項目について A4 4枚以内にまとめる）
  - ・展覧会企画趣旨
  - ・出展予定作家・作品案
  - ・出展予定作家の詳細
  - ・会期中の関連事業
- (3) 予算書（指定様式2）

※各応募様式はダウンロードして使用してください

※提出された応募書類は原則返却しません

※宅配便、レターパック、簡易書留等の送付記録が残る方法で送付してください

※封筒に「キュレーション公募 2023 応募書類在中」と朱書きしてください

[送付先]

〒932-0315

富山県砺波市庄川町示野 233 番地 ギャラリー無量

Email : [muryow@gallery-muryow.com](mailto:muryow@gallery-muryow.com)

HP : <https://www.gallery-muryow.com/> 検索「ギャラリー無量 砺波市」

## 10 応募締切

- ・2022年11月25日(金)必着(持参の場合は26日(土)20:00まで)

## 11 選考方法

- ・2022年11月27日(日)から書類選考・面談選考1組を選定  
(12月中旬から12月下旬 応募者全員に郵送にて結果通知)

## 12 個人情報の取り扱い

本事業取得した個人情報については、個人情報保護法に基づき、厳正に取り扱うこととし、応募者の個人情報は本人の同意なく、主催者および選考委員以外には提供しません

## 13 関連企画・事前説明会

- ・トークイベント「キュレーションについて」
- ・日時：2022年10月9日(日) 15:00～16:00 ※入場無料・申込不要
- ・会場：ギャラリー無量
- ・出演：松江李穂/キュレーション公募展2020 選定キュレーター  
※トークイベント終了後、応募を検討されている方を対象に、会場下見や応募に関する質疑応答を行います(30分程度)  
※キュレーター公募にあたり、事前説明会への参加は必須条件ではありません

※説明会の折には、企画展「霧の向こうから石が」が行われています。

- ・開催期間 2022/9/30(金)ー11/28(月) 期間中 金・土・日・月曜日のみ開廊
- ・開廊時間 10:00ー12:00 13:00ー17:00
- ・キュレーション アーティスト協議にて行う
- ・アーティスト 大橋鉄郎、葛西由香、吉川永祐、小林知世、松川祐実
- ・展示概要

本展は金沢、札幌にそれぞれ在住する大橋鉄郎、葛西由香、吉川永祐、小林知世、松川祐実の5人のアーティストの企画で行われるグループ展。

今回展覧会に参加する5人は共通の目的を持って組織された集団というわけではない。数年前から「地方で活動をしていると、どの場所に対しても同じくらい遠く感じるので、地方同士で直接やり取りをしてみよう」とメンバーが入れ替わりつつ漠然と交流を行っていたところ、その事を知った札幌のギャラリーが2つの地方の交流展を企画した際に集まった5人であり、同メンバーでの企画としては今回で2回目となる。

本展では5人が基本1対1で、それぞれやり取りを行うことで企画が進められる。定期的な全体会はありつつも個々のやり取りの手段、内容は異なるものである。またそれらが一体どの程度が展覧会に持ち込まれるかは不明だ。「展覧会を開く」ことを考えれば、無駄が多く効率の悪い方法に思える。しかし、そこで私たちは自分の制作に加えて、あえて複数の回り道を行う。個々の制作、やりとりをひとつのものに統合するのではなく差異を含んだまま、それぞれの応答を試みる。

霧が晴れることを望んでいるわけではない。

霧の向こうに投げた応答がこういった形であれ、投げ返されることを期待している。

- 関連行事「霧の向こうから石が アーティストトーク」  
 ・開催日時 2022年10月9日（日）13:00—15:00

#### 14 応募から選考までのスケジュール

2022年09月01日(日)	応募開始
2022年10月09日(日)	トークイベント・事前説明会
2022年11月25日(金)	応募締め切り
2022年11月27日(日)	審査（書類選考）（面談）
2022年12月中旬	審査結果通知

#### 15 事業実施のスケジュール

2022年12月下旬～	(予定)数回の企画会議
2023年08月中旬	DM・ポスターデータ作成・発送
2023年09月下旬	展示設営
2023年10月07日(土)	(予定)「キュレーション公募展2023」open
2023年10月07日(土)	(予定)関連事業（トークイベントなど）
2023年11月下旬	展示搬出
2024年1月下旬	記録集作成

#### 16 問い合わせ先

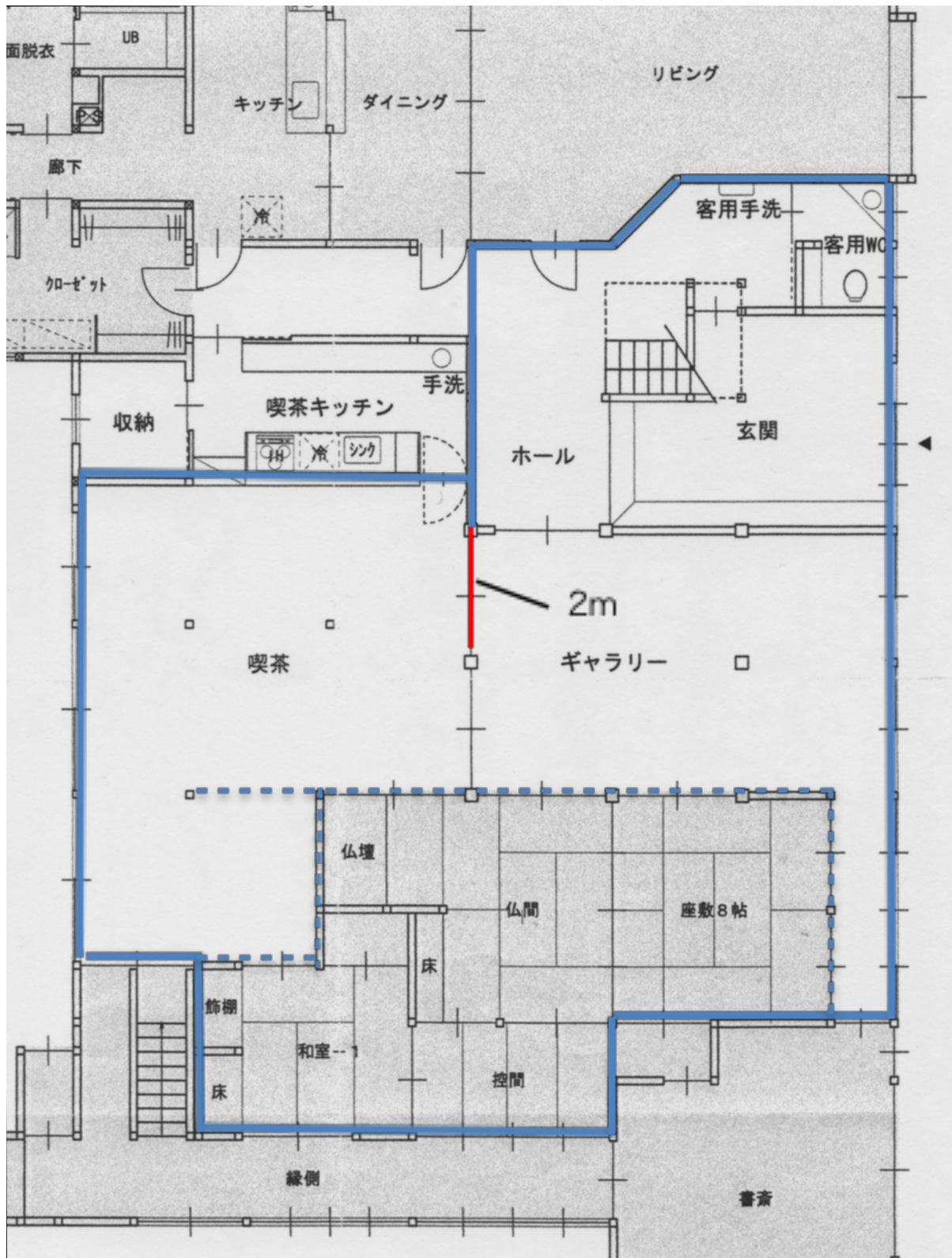
〒932-0315 富山県砺波市庄川町示野 233 番地

☎0763-82-2214

Email: [muryow@gallery-muryow.com](mailto:muryow@gallery-muryow.com)

HP: <https://www.galleru-muryow.com/> 検索「ギャラリー無量 砺波市」

※ギャラリー無量平面図



※パネル設置ができます。(パネルを設置するとほぼ暗室)

※展示台・黒 300×300×900mm 15台

・黒 450×450×900mm 8台

・黒 600×600×600mm 1台

・黒 200×450×1800mm 4台

※スポットライト 広角 20台 狭角 20台

※展示ワイヤー1.5m 12kg対応 50本 ※展示フック 10個 展示コンセント 10

「キュレーション公募 2023」応募用紙(様式 1)

<p>キュレーション公募 2023 応募用紙</p>	<p>受付番号 (事務局記載)</p>
<p>ふりがな</p> <p>キュレーターの氏名 団体名</p>	<p>生年月日                      年      月      日</p>
<p>ふりがな</p> <p>団体の場合 代表者名</p>	<p>TEL</p> <p>FAX</p>
<p>ふりがな</p> <p>住所 〒</p>	<p>E-mail</p>
<p>プロフィール・これまでの活動など</p>	
<p>展覧会タイトル (仮でも可)</p>	
<p>企画の概要</p>	
<p>出展作家(作品)案</p>	<p>関連イベント事業案</p>
<p>* 詳細は応募用紙とは別に企画書及び予算書をつけてください</p>	

「キュレーション公募 2023」企画書（様式自由 A4 4枚以内）

応募者名：

- ・ 展覧会企画趣旨
- ・ 出展予定作家・作品案
- ・ 出展予定作家の詳細
- ・ 会期中の関連イベント事業案